

古典四重奏団によるレクチャー付きコンサート

音楽はむずかしい、ことにクアルテットなんて・・・と、思っているじゃないですか？ たしかに聴いてすぐに「なるほど、納得」とはいいかないかもしれませんが。しかし古典四重奏団のレクチャーなら大丈夫、生演奏を聴きながらの解説ですから楽譜など読めなくても充分にお楽しみいただけます。各回ともに前半は実演を伴いながらのレクチャー、後半は迫力満点の演奏をお聴き頂きます。これならどなたにも『音楽が見える!』

音楽が見える! in 青葉台

第3回 2019年3月21日(木・祝)14:00 開演(13:30開場)

《モーツァルトは一日にして成らず〜その3》

天才の名をほしいままにしたモーツァルトは、持って生まれた才能に恵まれていただけではなく、実とはとんでもない努力を重ねていたのです。その軌跡を追うことで、モーツァルトの本当の凄さに触れていただきたい、それが古典四重奏団の願いです。
「変ホ長調四重奏曲」は演奏の機会があまり多くないのですが、その斬新さは目を見張るばかりです。モーツァルトには珍しい「書き直し」もあるほど、熟考された傑作です。
また今回は、爽やかな風合いを持つハイドン晩年の作品、ト長調と一緒に演奏されます。

音楽が見える! in 新百合ヶ丘

第22回 2019年6月23日(日)14:30 開演(14:00開場)

《ラズモフスキーの衝撃〜その3》

先人たちから学び取った技法の数々を掌中に収めたベートーヴェンは、新たな世界の扉を開きました。「傑作の森」と呼ばれる作品群はそれまでの音楽から大きく変貌を遂げ、その姿は加速度的に進化してゆきます。ラズモフスキー第3番では、堂々としたアレグロ楽章、エキゾチックなアンダンテ、優美なメヌエットに続き、めくるめくフーガが展開されるフィナーレと、ラズモフスキーシリーズを華麗に締めくくります。

古典四重奏団 QUARTETTO CLASSICO

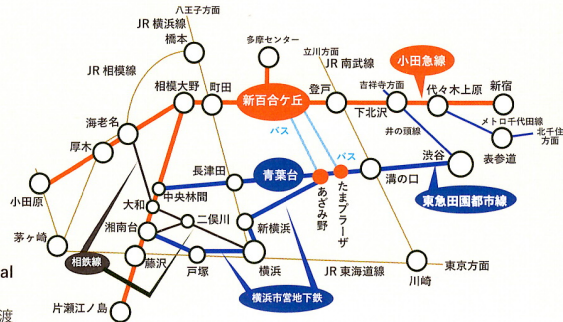
1986年東京藝術大学及び同大学院卒業生により結成。レパートリーは80数曲にのぼり、そのすべてを暗譜で演奏。研ぎ澄まされた集中力と温かく透明なハーモニーを持ち、作品へのアプローチは極めて独創的である。全員がピリオド楽器の演奏もするが、古典四重奏団では通常のモダン楽器を使用。現在【ムスカシはおもしろい!】【音楽が見える! in 新百合ヶ丘】【音楽が見える! in 青葉台】の各定期公演を継続中。

1996年、ニューヨークの鬼才S.ライヒと日本人として初めて「ディファレント・トレインズ」を共演、99年ギリシア公演、2005年ドイツ公演。【SQWシリーズ】にて、02年から15年までに30公演77曲を演奏。【ハイドンの部屋】にてハイドンの弦楽四重奏曲全曲演奏完結。【ショスタコヴィチの自画像】にて全15曲完結。大晦日開催の「ベートーヴェン弦楽四重奏曲9曲演奏会」に13年連続出演。テレビやNHKFMなどに多数出演。

「村松賞」「文化庁芸術祭大賞」「文化庁芸術祭優秀賞」「東燃ゼネラル音楽賞(旧モービル音楽賞)奨励賞」「ミュージック・ペンクラブ音楽賞」各受賞。

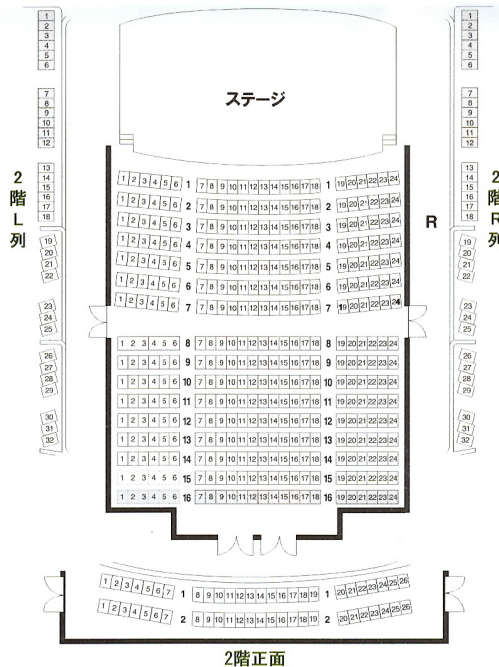
これまでに、ベートーヴェン後期(全4枚)、バッハ『フーガの技法』、シューベルト『死と乙女』、モーツァルト『ハイドンセット』(全3枚)、バルトーク全6曲(2枚組プラス解説CD)、ショスタコヴィチ全15曲(全5枚)リリース。

電車、バス、車だと、新百合ヶ丘と青葉台は意外と近い!



昭和音楽大学ユリホール
小田急線 新百合ヶ丘駅南口下車
昭和音楽大学南校舎5階

フィリアホール
東急田園都市線「青葉台」駅からのお越しの方のアクセス
下り方面(渋谷方面から):ホーム横改札から出てデッキを渡りCafe&Meal MUJIの入居する建物の5階に上がってください。
上り方面(中央林間方面から):1階改札を出て直進、正面の横断歩道を渡り、1階にスターバックスコーヒエの入居する建物の5階に上がってください。



「古典倶楽部」のご案内

「古典倶楽部」は古典四重奏団のファンクラブです。会費は3年間で3,000円、チケットの割引などの特典があります。詳細・お申し込みは、古典四重奏団HP <http://www.gregorio.jp/qc/>にてご案内しております。チケットのご購入前に入会が必要です。

本公演の古典倶楽部会員割引価格

1回券 2,700円 ペア券 5,200円
2回券 4,800円 学生券 1,500円

